

千葉県福祉サービス第三者評価の評価結果 (保育所)

1 評価機関

名 称	社会福祉法人千葉県社会福祉協議会
所 在 地	千葉県千葉市中央区千葉港4番3号
評価実施期間	平成24年12月10日～平成25年3月31日

2 受審事業者情報

(1) 基本情報

名 称 (フリガナ)	花の井保育園 ハノイキョウ		
所 在 地	〒277-0813 千葉県柏市大室1285番地の12		
交通手段	柏駅西口より 東急柏ビレジ行バス約20分柏ビレジ第1下車すぐ		
電 話	04(7135)7010	FAX	04(7135)7015
ホームページ	http://chigusakai.ed.jp/hananoi/index.html		
経 営 法 人	社会福祉法人 千草会		
開設年月日	平成15年4月1日		
併設しているサービス	子育て支援センター(おひさまクラブ)月～金 詳細についてはお問い合わせください。 電話番号04(7135)7010		

(2) サービス内容

対象地域	千葉県柏市								
定 員	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計		
	10	10	20	20	30		90		
敷地面積	2500㎡			保育面積		914.8㎡			
保育内容	0歳児保育		障害児保育		延長保育		夜間保育		
	休日保育		病後児保育		一時保育		子育て支援		
健康管理	小児科医の健康診断(年2回)、歯科医検診								
食 事	完全給食、離乳食、アレルギー対応、年齢と時間に合わせた食事の提供、おやつ・軽食について3歳未満は午前と午後の2回、3歳以上は午後の1回、延長・夜間保育対応の軽食あり								
利用時間	月～金7:00～20:00 土7:00～19:00 休日保育7:30～18:00								
休 日	12/31、1/1～1/3								
地域との交流	地元町会の行事参加、小学校との交流、小中高校生の職場体験受入等								
保護者会活動	夏祭、レクリエーション等を年3回程度開催								

(3) 職員(スタッフ)体制

職 員	常勤職員	非常勤、その他	合 計	備 考
	18	8	26	
専門職員数	保育士	看護師	栄養士	
	18		2	
	保健師	調理師	調理員	
		1	2	
	施設長	事務職	その他専門職員	
	1	2		

(4) サービス利用のための情報

利用申込方法	柏市役所こども部保育課で手続きを行ってください。		
申請窓口開設時間	8 : 3 0 ~ 1 7 : 1 5		
申請時注意事項	申請に必要な資料については、申請書や調査書等の基本資料のみでなく、ご家庭の状況によっては別途ご用意いただくものがあります。詳しくはお問い合わせ下さい。		
サービス決定までの時間	<ul style="list-style-type: none"> ・新年度の入園案内は毎年11月に「広報かしわ」で掲載されます。 ・入園希望前々月16日～前月15日までにお申し込み(入園希望月5月～翌年3月の場合)後、柏市で審査をし、入園希望前月下旬に通知されます。 		
入所相談	柏市役所こども部保育課 電話番号04(7167)1137		
利用料金	前年度の所得税及び、お子さんの保育年齢により、自己負担が異なります。		
食事料金	上記利用料金に含まれます。		
苦情対応	窓口設置	設置済	
	第三者委員の設置	設置済	

3 事業者から利用（希望）者の皆様へ

<p>サービス方針 (理念・基本方針)</p>	<p>理念</p> <ul style="list-style-type: none"> ・花の井保育園は子どもの育ちを支えます。 ・花の井保育園は保護者の子育てを支えます。 ・花の井保育園は地域社会の中で、子育ての基地となるよう事業を実践していきます。 <p>方針</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子ども一人ひとりの育ちの保障。 ・保育内容を保護者に周知、理解してもらう。（養護と教育が一体となった保育所保育の理解） ・職員研修を積極的に行い、職員一人ひとり質の向上を図る。
<p>特 徴</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・保育所保育指針を基本にし、一人ひとりの子どもの育ちを大切にしています。 ・保護者との日常のコミュニケーションを通し、保護者の状況や意向を受け止め、子どもの育ちを伝え合う中で、子どもたちが健やかに育つことができるよう努力しています。
<p>利用（希望）者 へのPR</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・花の井保育園は『命を育み学びの意欲を育てます』 ・一人ひとりのお子さんが人格形成の基盤となる現在（いま）を幸せに生き、未来（あす）を生きる力を育てます。 ・お子さんを取り巻く環境（人、物、地域、空間、時間等）の中で、一人ひとりを大切に育てています。 ・保護者が安心して預けられるよう、日常のコミュニケーション等を大切にしています。 ・職員の専門性と人間性の向上を図り、質の高い保育が実践できるよう努力しています。

福祉サービス第三者評価総合コメント

特に力を入れて取り組んでいること
<p>1) 個を大事にする家庭的保育</p> <p>家庭にあって保護者と子供が一对一の関係にあるように、保育園という集団の中にあっても、園児一人一人が個々の大切な存在として意識され育まれるよう、基準を超えて余裕のある人数の保育士を配置し、園長の強いリーダーシップの下に保育士・職員が一体となって家庭的保育が営まれている。</p>
<p>2) 恵まれた環境を生かした伸び伸びとした子育ての実践</p> <p>家並みの美しい、落ち着いた雰囲気のある住宅街の中に立地し、近くに樹木に囲まれた公園もあり、非常に恵まれた環境の中に、木造平屋建ての園舎が余裕のある造りで建てられており、園児は解放感一杯、伸び伸びと育てられている。</p>
<p>3) 実態をベースに練り上げられるマニュアル化</p> <p>家庭的保育にはマニュアルでは表せない内容があるとの考えから、臨機応変の最適対応を重視する保育方針が開園以来とられていたが、経験年数が少ない職員の戸惑いを解消してサービスの進化を深めようとの現場の声から、基本となる部分について、自らの経験を基にマニュアル化が全員参加で進められており、実態をベースにした保育の質の向上に着実な成果を上げている。</p>
さらに取り組みが望まれるところ
<p>1) 文書やITCを活用した情報の共有化 (対象 職員、保護者、地域等)</p> <p>コミュニケーションの緊密化について注力する様子は窺うことができるが、表現方法、伝達手段、頻度等で改善の余地があり、特に伝達手段ではソーシャル・ネットワークの活用や保護者向けのインターネットによる、より身近な内容のメール配信の日常化等、社会の変化に適合した手段を活用して、時代のニーズをしっかりと満たして行かれることを望みたい。</p>
<p>2) 衛生・安全対策の強化</p> <p>履物置き場の近くの廊下の汚れや調乳室への園児の立ち入り等、衛生・安全面でやや不徹底な場面が目に入った。開放的保育が安心・安全の維持に支障とならないように、感染症対策の手洗いやうがいのより一層の励行等とともに、園児の健康管理面でもさらなる気遣いと工夫を期待したい。</p>

<p>(評価を受けて、受審事業者の取り組み)</p> <p>< さらに取り組みが望まれることについて ></p> <p>1. 現在、保護者、職員を対象に日々メール配信でのやりとりが実施されているが、ホームページ上の利用者用ページの更新等、日常の複雑な業務の合間を縫っての作業となるため厳しい現実もあるが、出来る限り努力をしていきたい。</p> <p>2. 児童への衛生管理上の指導の徹底と共に、職員による環境整備により一層の配慮をしていきたい。</p>
--

福祉サービス第三者評価項目（保育所）の評価結果

大項目	中項目	小項目	項目	標準項目	
				実施数	未実施数
福祉サービスの基本方針と組織運営	1 理念・基本方針	理念・基本方針の確立 理念・基本方針の周知	1 理念や基本方針が明文化されている。	3	0
			2 理念や基本方針が職員に周知・理解されている。	3	0
			3 理念や基本方針が利用者等に周知されている。	2	1
	2 計画の策定	事業計画と重要課題の明確化 計画の適正な策定	4 事業計画を作成し、計画達成のための重要課題が明確化されている。	2	2
			5 施設の事業計画等、重要な課題や方針を決定するに当たっては、職員と幹部職員とが話し合う仕組みがある。	2	1
	3 管理者の責任とリーダーシップ	管理者のリーダーシップ	6 理念の実現や質の向上、職員の働き甲斐等に取り組み指導力を発揮している。	5	0
	4 人材の確保・養成	人事管理体制の整備	7 施設の全職員が守るべき倫理を明文化している。	3	0
			8 人事方針を策定し、人事を計画的・組織的に行い、職員評価が客観的な基準に基づいて行われている。	1	3
		職員の就業への配慮	9 事業所の就業関係の改善課題について、職員（委託業者を含む）などの現場の意見を幹部職員が把握し改善している。また、福利厚生に積極的に取り組んでいる。	5	0
		職員の質の向上への体制整備	10 職員の教育・研修に関する基本方針が明示され、研修計画を立て人材育成に取り組んでいる。	2	3
適切な福祉サービスの実施	1 利用者本位の保育	利用者尊重の明示	11 施設の全職員を対象とした権利擁護に関する研修を行い、子どもの権利を守り個人の意思を尊重している。	4	0
			12 個人情報保護に関する規定を公表し徹底を図っている。	3	1
		利用者満足の向上	13 利用者満足の向上を意図した仕組みを整備し、取り組んでいる。	4	0
		利用者意見の表明	14 苦情又は意見を受け付ける仕組みがある。	3	1
	2 保育の質の確保	保育の質の向上への取り組み	15 保育内容について、自己評価を行い課題発見し改善に努め、保育の質の向上に努めている。	2	1
		提供する保育の標準化	16 提供する保育の標準的実施方法のマニュアル等を作成し、また日常の改善を踏まえてマニュアルの見直しを行っている。	4	0
	3 保育の開始・継続	保育の適切な開始	17 保育所利用に関する問合せや見学に対応している。	1	1
			18 保育の開始に当たり保育方針や保育内容を利用者に説明し、同意を得ている。	3	1
	4 子どもの発達支援	保育の計画及び評価	19 保育所の理念や保育方針・目標に基づき保育課程が適切に編成されている。	3	0
			20 保育課程に基づき具体的な指導計画が適切に設定され、実践を振り返り改善に努めている。	5	0
			21 子どもが自発的に活動できる環境が整備されている。	5	0
			22 身近な自然や地域社会と関わるような取り組みがなされている。	3	1
			23 遊びや生活を通して人間関係が育つよう配慮している。	5	0
			24 特別な配慮を必要とする子どもの保育が適切に行われている。	6	0
25 長時間にわたる保育に対して配慮がなされている。			3	0	
26 家庭及び関係機関との連携が十分図られている。			3	0	
子どもの健康支援		27 子どもの健康状態、発育、発達状態を適切に把握し、健康増進に努めている。	3	0	
28 感染症、疾病等の対応は適切に行われている。		3	0		
5 安全管理	環境と衛生	30 環境及び衛生管理は適切に行われている。	2	1	
	事故対策	31 事故発生時及び事故防止対策は適切に行われている。	3	1	
	災害対策	32 地震・津波・火災等非常災害発生時の対策は適切に行われている。	5	0	
6 地域	地域子育て支援	33 地域ニーズを把握し、地域における子育て支援をしている。	4	1	
計				110	19

項目別評価コメント

事業者名 社会福祉法人千草会 花の井保育園

標準項目 整備や実行が記録等で確認できる。 確認できない。

項目	標準項目	標準項目	
		実施数	未実施数
1	理念や基本方針が明文化されている。	3	0
<p>理念・方針が文書(事業計画等の法人・事業所内文書や広報誌、パンフレット等)に明記されている。 理念・方針から、法人が実施する福祉サービスの内容や特性を踏まえた法人の使命や目指す方向、考え方を読み取ることができる。 理念・方針には、法の趣旨や人権擁護、自立支援の精神が盛り込まれている。</p> <p>(第三者評価コメント) 法人としての保育事業の経営・運営方針と保育現場である保育園の運営方針がそれぞれに整った内容で明文化されている。特に保育園の運営方針には個を大切に育てる心構えや保護者に寄り添った子育て支援のあり方、専門職としての保育士の責務等広い範囲にわたって丁寧に記述されている。</p>			

標準項目 整備や実行が記録等で確認できる。 確認できない。

項目	標準項目	標準項目	
		実施数	未実施数
2	理念や基本方針が職員に周知・理解されている。	3	0
<p>理念・方針を事業所内の誰もが見やすい箇所に掲示し、職員配布文書に記載している。 理念・方針を会議や研修において取り上げ職員と話し合い共有化を図っている。 理念・方針の実践を日常の会議等で話し合い実行面の反省をしている。</p> <p>(第三者評価コメント) 文書や話し合いを通しての共有化以外に、開園以来長い日時を重ね、園長や幹部職員の日常の行動や会話を通して理念・方針が職員に周知・理解されるような率先垂範の保育現場が構築されており、現場での職員の保育に取り組む姿勢や行動から理念・方針の周知・理解が行き届いていることが認められる。</p>			

標準項目 整備や実行が記録等で確認できる。 確認できない。

項目	標準項目	標準項目	
		実施数	未実施数
3	<p>理念や基本方針が利用者等に周知されている。</p> <p>(第三者評価コメント) パンフレットや文書への理念・方針の記載は分かり易さと簡潔性にやや欠けるところがあり、利用者への周知と理解度を深めるためにホームページを活用する等伝達方法の多様化に努めると共に分かり易さの面でさらなる工夫と改善を期待したい。</p>	2	1

標準項目 整備や実行が記録等で確認できる。 確認できない。

項目	標準項目	標準項目	
		実施数	未実施数
4	<p>事業計画が具体的に設定され実施状況の評価が行える配慮がなされている。 理念・基本方針より重要課題が明確にされている。 事業環境の分析から重要課題が明確にされている。 現状の反省から重要課題が明確にされている</p> <p>(第三者評価コメント) 中長期的観点からの課題分析や現状の事業内容の具体的解析を通じた課題設定が明文化されておらず、事業計画のあり方に改善の余地があり、作成過程も含めて検討を期待したい。</p>	2	2

標準項目 整備や実行が記録等で確認できる。 確認できない。

項目	標準項目	標準項目		
		実施数	未実施数	
5	<p>施設の事業計画等、重要な課題や方針を決定するに当たっては、職員と幹部職員とが話し合う仕組みがある。</p>	<p>各計画の策定に当たっては、現場の状況を把握し、職員と幹部職員が話し合う仕組みがある。 年度終了時はもとより、年度途中にあっても、あらかじめ定められた時期、手順に基づいて事業計画の実施状況の把握、評価を行っている。 方針や計画、課題の決定過程が、一部の職員だけでなく、全ての職員に周知されている。</p>	2	1
		<p>(第三者評価コメント) 職員と幹部職員との話し合いの仕組みは整備されているが、事業計画の実施状況について話し合うための様式や実施結果を評価する仕組みが未整備で記録として確認することは困難な状況にあり、改善を期待したい。</p>		

標準項目 整備や実行が記録等で確認できる。 確認できない。

項目	標準項目	標準項目		
		実施数	未実施数	
6	<p>理念の実現や質の向上、職員の働き甲斐等に取り組み指導力を発揮している。</p>	<p>理念・方針の実践面の確認等を行い、課題を把握し、改善のための具体的な方針を明示して指導力を発揮している。 職員の意見を尊重し、自主的な創意・工夫が生まれやすい職場づくりをしている。 研修等により知識・技術の向上を図り、職員の意欲や自信を育てている。 職場の人間関係が良好か把握し、必要に応じて助言・教育を行っている。 評価が公平に出来るように工夫をしている。</p>	5	0
		<p>(第三者評価コメント) 幹部職員の率先垂範によって理念・方針は実践面で日常の職務に取り入れられて優れた保育の実践現場が構築されており、指導力の発揮を認めることができる。形式にとらわれず、伸び伸びと職務を遂行できる職場環境であって自主的な創意・工夫が生まれやすい職場づくりができています。研修で得られた情報や知識も現場に生かされ、保育の質の向上や職場の改善等で成果に結びつけられている。</p>		

標準項目 整備や実行が記録等で確認できる。 確認できない。

項目	標準項目	標準項目		
		実施数	未実施数	
7	施設の全職員が守るべき倫理を明文化している。	<p>法の基本理念など踏まえて、保育所の倫理規程があり、職員に配布されている。 従業者を対象とした、倫理及び法令遵守に関する研修を実施し、周知を図っている。 プライバシー保護の考え方を職員に周知を図っている。</p>	3	0
		<p>(第三者評価コメント) 倫理要綱は明文化されて研修や話し合いの場等で理解と周知が図られている。</p>		

標準項目 整備や実行が記録等で確認できる。 確認できない。

項目	標準項目	標準項目		
		実施数	未実施数	
8	人事方針を策定し、人事を計画的・組織的に行い、職員評価が客観的な基準に基づいて行われている。	<p>人材育成方針が明文化されている。 職務権限規定等を作成し、従業者の役割と権限を明確にしている。 評価基準や評価方法を職員に明示し、評価の客観性や透明性の確保が図られている。 評価の結果について、職員に対して説明責任を果たしている。</p>	1	3
		<p>(第三者評価コメント) 日常職務を通じて人材育成方針は職員に周知されているが、特別に明文化はされておらず、評価の透明性も十分には確保されていない。これまでに長い年月を経て築かれた保育の質が、継続して発展を続けるように、基礎となるところは明文化して積み重ねられるよう組織としてのチャレンジを望みたい。</p>		

標準項目 整備や実行が記録等で確認できる。 確認できない。

項目	標準項目	標準項目		
		実施数	未実施数	
9	<p>事業所の就業関係の改善課題について、職員（委託業者を含む）などの現場の意見を幹部職員が把握し改善している。また、福利厚生に積極的に取り組んでいる。</p>	<p>担当者や担当部署等を設置し職員の有給休暇の消化率や時間外労働のデータを、定期的にチェックしている。 把握した問題点に対して、人材や人員体制に関する具体的な改善計画を立て実行している。 職員が相談をしやすいような組織内の工夫をしている。 職員の希望の聴取等をもとに、総合的な福利厚生事業を実施している。 育児休暇やリフレッシュ休暇等の取得を励行している。</p>	5	0
		<p>(第三者評価コメント) 家庭的な職場環境の中で人員配置や臨機応変の人材活用は極めてスムーズに行われており現場の意思疎通も滞るところなく行われている。育児休暇やリフレッシュ休暇の制度も明文化されていて取得も励行されている。</p>		

標準項目 整備や実行が記録等で確認できる。 確認できない。

項目	標準項目	標準項目		
		実施数	未実施数	
10	<p>職員の教育・研修に関する基本方針が明示され、研修計画を立て人材育成に取り組んでいる。</p>	<p>中長期の人材育成計画がある。 職種別、役割別に能力基準を明示している。 研修計画を立て実施し、必要に応じて見直している。 個別育成計画・目標を明確にしている。 OJTの仕組みを明確にしている。</p>	2	3
		<p>(第三者評価コメント) 研修方針は明文化されており、研修への参加が人材育成の中心に位置付けられて活用されている。しかし、個別あるいは職種別等細部にわたる人材育成計画は明文化されておらず、被育成者との理解を共有化するための仕組みづくりを望みたい。</p>		

標準項目 整備や実行が記録等で確認できる。 確認できない。

項目	標準項目	標準項目	
		実施数	未実施数
11	<p>施設の全職員を対象とした権利擁護に関する研修を行い、子どもの権利を守り、個人の意思を尊重している。</p> <p>法の基本方針や児童権利宣言など研修をしている。 日常の援助では、個人の意思を尊重している。 職員の言動、放任、虐待、無視など行われることの無いように、職員が相互に振り返り組織的に対策を立て対応している。 虐待被害にあった子どもがいる場合には、関係機関と連携しながら対応する体制を整えている。</p> <p>(第三者評価コメント) 職員全員で研修を行い、子ども一人ひとりの意思を尊重し、その時々で問題の解決に向けた対応をしている。また、これまで虐待の事例は発生していないが、関係機関と連携をとる仕組みはできている。</p>	4	0

標準項目 整備や実行が記録等で確認できる。 確認できない。

項目	標準項目	標準項目	
		実施数	未実施数
12	<p>個人情報保護に関する規定を公表し徹底を図っている。</p> <p>個人情報の保護に関する方針をホームページ、パンフレットに掲載し、また事業所等内に掲示し実行している。 個人情報の利用目的を明示している。 利用者等の求めに応じて、サービス提供記録を開示することを明示している。 職員(実習生、ボランティア含む)に研修等により周知徹底している。</p> <p>(第三者評価コメント) 個人情報保護に関してのマニュアルが示されており、職員はその内容を把握している。ただ、実習生やボランティアに対しての説明が十分になされていない。今後、基本的な事柄の周知を実習生やボランティアに図られるよう期待したい。</p>	3	1

標準項目 整備や実行が記録等で確認できる。 確認できない。

項目	標準項目	標準項目	
		実施数	未実施数
13 利用者満足の上を意図した仕組みを整備し、取り組んでいる。	<p>利用者満足を把握し改善する仕組みがある。 把握した問題点の改善策を立て迅速に実行している。 利用者・家族が要望・苦情が言いやすい雰囲気を作っている。 利用者等又はその家族との相談の場所及び相談対応日の記録がある。</p>	4	0
	<p>(第三者評価コメント) 園長をはじめ職員一人一人が、保護者との関係づくりの上で、日々の積み重ねの大切さを考えており、ひとつの方法として、園独自に保護者へのアンケートなどを行い、利用者や保護者の満足度の向上に取り組んでいる。</p>		

標準項目 整備や実行が記録等で確認できる。 確認できない。

項目	標準項目	標準項目	
		実施数	未実施数
14 苦情又は意見を受け付ける仕組みがある。	<p>保護者に交付する文書に、相談、苦情等対応窓口及び担当者が明記され説明し周知徹底を図っている。 相談、苦情等対応に関するマニュアル等がある。 相談、苦情等対応に関する記録があり、問題点の改善を組織的に実行している。 保護者に対して苦情解決内容を説明し納得を得ている。</p>	3	1
	<p>(第三者評価コメント) 苦情の対応は園にとっても大切なことであることは理解しており、職員も問題点を改善していくために話し合いを行っている。しかし、訪問時、苦情対応窓口の掲示はあったがわかりにくかった。今後、保護者にとってわかりやすい、相談しやすい環境づくりに取り組んで行ってほしい。</p>		

標準項目 整備や実行が記録等で確認できる。 確認できない。

項目	標準項目	標準項目	
		実施数	未実施数
15 保育内容について、自己評価を行い課題発見し改善に努め、保育の質の向上を図っている。	<p>保育の質について自己評価を定期的に行う体制を整備し実施している。 保育の質向上計画を立て実行し、PDCAサイクルを継続して実施し恒常的な取り組みとして機能している。 自己評価や第三者評価の結果を公表し、保護者や地域に対して社会的責任を果たしている。</p>	2	1
	<p>(第三者評価コメント) 保護者へ自己評価や第三者評価の結果を報告している。また、質の向上への意識も高くなってきている。しかし、今回の自己評価に関しては、職員全員での取組には至らず、今後、自己評価の大切さと職員全員参加に向けての取組に期待したい。</p>		

標準項目 整備や実行が記録等で確認できる。 確認できない。

項目	標準項目	標準項目	
		実施数	未実施数
16 提供する保育の標準的実施方法のマニュアル等を作成し、また日常の改善を踏まえてマニュアルの見直しを行っている。	<p>業務の基本や手順が明確になっている。 分からないときや新人育成など必要に応じてマニュアルを活用している。 マニュアル見直しを定期的に行っている。 マニュアル作成は職員の参画のもとに行われている。</p>	4	0
	<p>(第三者評価コメント) 前回の第三者評価後、マニュアルの大切さを知り、新人の教育や日常行われていた事への見直しを含めた、全員参加型の委員会を立ち上げている。今後も、マニュアルの改善や追加項目への話し合いを定期的に行ってほしい。</p>		

標準項目 整備や実行が記録等で確認できる。 確認できない。

項目	標準項目	標準項目	
		実施数	未実施数
17 保育所利用に関する問合せや見学に対応している。	<p>問合せ及び見学に対応できることについて、パンフレット、ホームページ等に明記している。 問合せ又は見学に対応し、利用者のニーズに応じた説明をしている。</p>	1	1
	<p>(第三者評価コメント) 電話や口頭での対応はされているが、パンフレットやホームページにも、見学受け入れなどについて明記し、よりわかりやすい対応を試みてほしい。</p>		

標準項目 整備や実行が記録等で確認できる。 確認できない。

項目	標準項目	標準項目	
		実施数	未実施数
18 保育の開始に当たり、保育方針や保育内容等を利用者に説明し、同意を得ている。	<p>保育の開始にあたり、理念に基づく保育方針や保育内容及び基本的ルール等を説明している。 説明や資料は保護者にわかり易いように工夫している。 説明内容について、保護者の同意を得るようにしている。 保育内容に関する説明の際に、保護者の意向を確認し、記録化している。</p>	3	1
	<p>(第三者評価コメント) 4月に保護者に向けた説明会を行い、資料を配布するなど保護者にわかりやすいように工夫している。個別面接などで得られた情報を計画の中に取り組みことは行われているが、保護者の意見が記録として残されていない。</p>		

標準項目 整備や実行が記録等で確認できる。 確認できない。

項目	標準項目	標準項目	
		実施数	未実施数
19 保育所の理念や保育方針・目標に基づき保育課程が適切に編成されている。	<p>保育課程は、保育理念、保育方針、保育目標及び発達過程などが組み込まれて作成されている。 子どもの背景にある家庭や地域の実態を考慮して作成されている。 施設長の責任の下に全職員が参画し、共通理解に立って、協力体制の下に作成されている。</p>	3	0
	<p>(第三者評価コメント) 全国保育士会委員でもある園長が中心となり、理念や方針を具体的に作成し、職員が共有できるように、時間をかけて、取組がなされている。</p>		

標準項目 整備や実行が記録等で確認できる。 確認できない。

項目	標準項目	標準項目	
		実施数	未実施数
20 保育課程に基づき具体的な指導計画が適切に設定され、実践を振り返り改善に努めている。	<p>保育課程に基づき、子どもの生活や発達を見通した長期的な指導計画と短期的な指導計画が作成されている。 3歳児未満、障害児等特別配慮が必要な子どもに対しては、個別計画が作成されている。 発達過程を見通して、生活の連続性、季節の変化を考慮し、子どもの実態に即した具体的なねらいや内容が位置づけられている。 ねらいを達成するための適切な環境が構成されている。 指導計画の実践を振り返り改善に努めている。</p>	5	0
	<p>(第三者評価コメント) 子ども達を持つ、それぞれの発達状況を理解し、会議の中でも記録に残し、適切な対応をするように努力している。また、特別な配慮が必要な子どもの場合には、担任だけでなく、園長や主任の助言を求め、計画の中に織り込んでいく。継続し、根気よく行う事で適切な対応ができています。</p>		

標準項目 整備や実行が記録等で確認できる。 確認できない。

項目	標準項目	標準項目	
		実施数	未実施数
21	子どもが自発的に活動できる環境が整備されている。	5	0
<p>子どもの発達段階に即した玩具や遊具などが用意されている。 子どもが自由に素材や用具などを自分で取り出して遊べるように工夫されている。 好きな遊びができる場所が用意されている。 子どもが自由に遊べる時間が確保されている。 保育者は、子どもが自発性を発揮できるような働きかけをしている。</p> <p>(第三者評価コメント) 子どもに声掛けをした時に、元気な声で物おしせず調査員に対応した。また、子ども自身が遊具の説明をしてくれたり、思い思いに遊びを見つけて、活発に行動していた。</p>			

標準項目 整備や実行が記録等で確認できる。 確認できない。

項目	標準項目	標準項目	
		実施数	未実施数
22	身近な自然や地域社会と関わることができるような取組みがなされている。	3	1
<p>子どもが自然物や動植物に接する機会を作り、保育に活用している。 散歩や行事などで地域の人達に接する機会をつくっている。 地域の公共機関を利用するなど、社会体験が得られる機会をつくっている。 季節や時期、子どもの興味を考慮して、生活に変化や潤いを与える工夫を日常保育の中に取り入れている。</p> <p>(第三者評価コメント) 近隣公園への散歩や地域のプールを利用するなど、日常の保育に工夫をしている。また、地域での夏祭りへの参加なども行っている。調査時期が冬だったこともあり、園庭に草木が少なかった。身近な園内でいつでも動物や草木を育てられる環境づくりを心掛けてほしい。</p>			

標準項目 整備や実行が記録等で確認できる。 確認できない。

項目	標準項目	標準項目	
		実施数	未実施数
23	遊びや生活を通して人間関係が育つよう配慮している。	5	0
	<p>子ども同士の関係をより良くするような適切な言葉かけをしている。 けんかやトラブルが発生した場合、危険のないように注意しながら、子供達同士で解決するように援助している。 順番を守るなど、社会的ルールを身につけていくように配慮している。 子どもが役割を果せるような取組みが行われている。 異年齢の子どもの交流が行われている。</p> <p>(第三者評価コメント) 園庭では、異令児との交流も見られ、譲りあったり導いたりする姿が見られた。職員はそれぞれのトラブルに対応し支援をしている。職員の手伝いを複数の子どもで行う姿も見られた。</p>		

標準項目 整備や実行が記録等で確認できる。 確認できない。

項目	標準項目	標準項目	
		実施数	未実施数
24	特別な配慮を必要とする子どもの保育	6	0
	<p>子ども同士の関わりに対して配慮している。 個別の指導計画に基づき、きめ細かい配慮と対応を行い記録している。 個別の指導計画に基づき、保育所全体で、定期的に話し合う機会を設けている。 障害児保育に携わる者は、障害児保育に関する研修を受けている。 必要に応じて、医療機関や専門機関から相談や助言を受けている。 保護者に適切な情報を伝えるための取組みを行っている。</p> <p>(第三者評価コメント) クラス全体への配慮を含めた対応を行い、保護者には、面接を繰り返す中で医師との連携を含め、きめ細かい記録を残し、検討会を開くなどして、今後の新たな方向性を提示し、保護者の理解へとつなげることができている。</p>		

標準項目 整備や実行が記録等で確認できる。 確認できない。

項目	標準項目	標準項目			
		実施数	未実施数		
25	長時間にわたる保育に対して配慮がなされている。	<p>引き継ぎは書面で行われ、必要に応じて保護者に説明されている。 担当職員の研修が行われている。 子どもが安心・安定して過ごせる適切な環境が整備されている。</p>		3	0
		<p>(第三者評価コメント) ノートが用意され、必要事項を書き込むことができるようになっている。また、午後の時間には、打ち合わせの時間を利用して、職員間での情報交換や保護者への説明ができるようになっている。</p>			

標準項目 整備や実行が記録等で確認できる。 確認できない。

項目	標準項目	標準項目			
		実施数	未実施数		
26	家庭及び関係機関との連携が十分図られている。	<p>一人ひとりの保護者と日常的な情報交換に加え、子どもの発達や育児などについて、個別面談、保育参観、保育参加、懇談会などの機会を定期的に設け、記録されている。 保護者からの相談に応じる体制を整え、相談内容が必要に応じて記録され上司に報告されている。 就学に向けて、保育所の子どもと小学校の児童や職員同士の交流、情報共有や相互理解など小学校との積極的な連携を図るとともに、子どもの育ちを支えるため、保護者の了解のもと、保育所児童保育要覧などが保育所から小学校へ送付している。</p>		3	0
		<p>(第三者評価コメント) 調査日当日も保育参加が行われており、保護者が定期的に参加する仕組みができています。保護者からの相談内容が記録され、主任や園長に報告も行われており、就学する子どもの情報も小学校へと送付され引き継がれている。</p>			

標準項目 整備や実行が記録等で確認できる。 確認できない。

項目	標準項目	標準項目		
		実施数	未実施数	
27	<p>子どもの健康状態、発育、発達状態を適切に把握し、健康増進に努めている。</p>	<p>子どもの健康に関する保健計画を作成し、心身の健康状態や疾病等の把握 記録され、嘱託医等により定期的に健康診断を行っている。 保護者からの情報とともに、登所時及び保育中を通じて子どもの健康状態を観察し、記録している。 子どもの心身の状態を観察し、不適切な養育の兆候や、虐待が疑われる場合には、所長に報告し継続観察を行い記録している。</p>	3	0
		<p>(第三者評価コメント)</p> <p>定期的な嘱託医の健康診断や個々の健康状態を把握して、それぞれへの対応をしている。保護者との情報交換も大切で、園内での発育状態、心身の発達など、双方が理解し協力し合うことで、子どもへの適切な対応を行っている。最近では、特別な配慮を必要とする子どもの保護者と1年間をかけて話し合い、保護者を含めた関係者が納得のできる結果へと結び付ける事ができた。</p>		

標準項目 整備や実行が記録等で確認できる。 確認できない。

項目	標準項目	標準項目		
		実施数	未実施数	
28	<p>感染症、疾病等の対応は適切に行われている。</p>	<p>保育中に体調不良や傷害が発生した場合には、その子どもの状態等に応じて、保護者に連絡するとともに、適宜、嘱託医や子どものかかりつけ医等と相談し、適切な処置を行っている。 感染症やその他の疾病の発生予防に努め、その発生や疑いがある場合には、必要に応じて嘱託医、市町村、保健所等に連絡し、その指示に従うとともに、保護者や全職員に連絡し、協力を求めている。 子どもの疾病等の事態に備え、医務室等の環境を整え、救急用の薬品、材料等を常備し、適切な管理の下に全職員が対応できるようにしている。</p>	3	0
		<p>(第三者評価コメント)</p> <p>感染症の対応マニュアルがあり、嘱託医との協力のもと、それに沿って職員が適切な対応をしている。訪問時期はインフルエンザの時期ではあったが感染者は少なかった。なお、今後、予防のためにも、うがいや手洗いの習慣をさらに徹底し、感染症の情報や適切な対応を保護者に向けても行うよう期待したい。</p>		

標準項目 整備や実行が記録等で確認できる。 確認できない。

項目	標準項目	標準項目	
		実施数	未実施数
29	食育の推進に努めている。	5	0
<p>(第三者評価コメント)</p> <p>食育への関心は深く 季節や行事などに沿った献立も考えられている。アレルギーの子どもや保護者に対して、担当医師からの指示を受けて安全のための取組がされ、個々の名前の書いてあるトレーを使用し、危険な食物の明示がされている。</p>			

標準項目 整備や実行が記録等で確認できる。 確認できない。

項目	標準項目	標準項目	
		実施数	未実施数
30	環境及び衛生管理は適切に行われている。	2	1
<p>(第三者評価コメント)</p> <p>施設内外の温度や音など、特に気になることはなかった。ただし、靴箱が施設内の廊下に設置され、靴の出し入れ時に、大量の砂が廊下にこぼれ、そのままの状態であった。靴箱の設置場所が、子どもへの安全面・衛生面を考慮したものとなっているのかこの機会に再度検討してほしい。</p>			

標準項目 整備や実行が記録等で確認できる。 確認できない。

項目	標準項目	標準項目	
		実施数	未実施数
31	<p>事故発生時及び事故防止対策は適切に行われている。</p> <p>事故発生時の対応マニュアルを整備し職員に徹底している。 事故発生原因を分析し事故防止対策を実施している。 設備や遊具等保育所内外の安全点検に努め、安全対策のために職員の共通理解や体制づくりを図っている。 危険箇所の点検を実施するとともに、外部からの不審者等の対策が図られている。</p> <p>(第三者評価コメント) ヒヤリハットを共通理解し、改善や今後の課題に結び付け、事故防止やマニュアル作成などに役立てている。しかし、調査中に調乳室への複数の幼児の入室が見られた。日常の注意が、疎かになりやすいので、危険を回避するためにも、安全について再度話し合い、事故防止に努めてほしい。</p>	3	1

標準項目 整備や実行が記録等で確認できる。 確認できない。

項目	標準項目	標準項目	
		実施数	未実施数
32	<p>地震・津波・火災等非常災害発生時の対策は適切に行われている。</p> <p>地震・津波・火災等非常災害発生に備えて、役割分担や対応等マニュアルを整備し周知している。 定期的に避難訓練を実施している。 避難訓練は消防署や近隣住民、家庭との連携のもとに実施している。 立地条件から災害の影響を把握し、建物・設備類の必要な対策を講じている。 利用者及び職員の安否確認方法が決められ、全職員に周知されている。</p> <p>(第三者評価コメント) 保護者へのメール通信で災害時の情報の伝達が行われることになっている。昨年3月の大地震での教訓をもとに、定期的な避難訓練はもとより、地域との連携をはかり適切な対応に取り組んでほしい。</p>	5	0

標準項目 整備や実行が記録等で確認できる。 確認できない。

項目		標準項目	標準項目	
			実施数	未実施数
33	地域ニーズを把握し、地域における子育て支援をしている。	<p>地域の子育てニーズを把握している。 子育て家庭への保育所機能を開放（施設及び設備の開放、体験保育等）し交流の場を提供し促進している。 子育て等に関する相談・助言や援助を実施している。 地域の子育て支援に関する情報を提供している。 子どもと地域の人々との交流を広げるための働きかけを行っている。</p>	4	1
		<p>(第三者評価コメント) 子育て支援センターや休日保育など、保護者の利用しやすい取組がなされている。開園10年を迎え、今後、広い意味での地域を支える、中核的な情報発信の場所になることを期待したい。</p>		